

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	小中学校校舎等改修事業			事業番号	10-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	教育部	大山 剛	教育総務課	熊澤 信一	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち
		基本政策	3	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり
		施策展開の方向	5	子どもの生きる力をはぐむまちをつくる
		施策	10	安全で快適な教育環境の整備
予算事業名	小学校校舎等改修事業費 中学校校舎等改修事業費			
事務区分〔選択〕	<input type="radio"/> 自治事務 <input checked="" type="radio"/> 法定受託事務	(選択してください)		法令上の位置づけ
事業開始年度	開始年度	～	終了年度	
関連法令等				
国・県の計画等				計画期間
関連個別計画	教育振興基本計画、公共施設等総合管理計画		計画期間	平成30年度～令和4年度、平成27年度～令和26年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	学校施設は建設から相当年数が経過し、老朽化が進んでいます。施設の安全対策や社会環境の変化及び多様な学習環境に対応した施設への改善が喫緊の課題となっています。			
目的 (何をどうしたいのか)	学校施設を将来にわたり適切に維持管理していくため、施設全体の優先順位を考慮し、トイレ改修等の機能向上や屋上防水や外壁塗装等の建物本体の保全を行います。			
主な対象 (誰・何を対象に)	児童生徒			
事業内容 (手段、手法など)	・教育環境の改善を図るため、小中学校校舎及び屋内運動場のトイレのリニューアルを中心に改修工事を実施します。			
事業行程	項目	年度		
		令和3年度	令和4年度	
	トイレのリニューアル	改修工事(1箇所)	改修工事(1箇所)	
目 標	【指標名】	【現状値】	年度	
			令和3年度	令和4年度
	トイレのリニューアル実施数	6箇所 (令和2年度)	7箇所	8箇所



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)			
実施方法 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施 <input checked="" type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		補助先 文部科学省
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		令和3年度	令和4年度
	トイレのリニューアル	改修工事(1箇所)	
実施した取組の内容	大田小学校2期校舎・屋内運動場のトイレ改修工事を実施しました。また、小学校2校の改修設計再積算業務委託に取り組みました。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度
			令和3年度 令和4年度
	トイレのリニューアル実施数	6箇所 (令和2年度)	7箇所

コスト	年度	令和3年度 実績				令和4年度 実績			
	内訳	事業費合計 (a)	93,765		千円			千円	
		国県支出金 ①	30,772		千円			千円	
		地方債 ②	60,600		千円			千円	
		その他特財 ③	0		千円			千円	
		一般財源 (a)-①-②-③	2,393		千円			0 千円	
	国県支出金の内容	学校施設環境改善交付金 補助率1/3							
	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期				
		その他							
	人件費	正規職員	0.29	人	2,372	千円		人	千円
		その他の職員	0	人	0	千円		人	千円
		人件費合計 (b)	0.29	人	2,372	千円		人	千円
	トータルコスト (a)+(b)				96,137	千円			0 千円
	単位当たりコスト	対象数	定義	児童生徒数		単位			単位
			対象数	7,073		人			
総事業費 / 対象数		13,592		円				円	

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	令和3年度は小学校1校(大田小学校)のトイレリニューアルを実施するとともに、小学校2校のトイレ改修設計に取り組むなど、計画的な事業進捗が図られたと考えます。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	市内小中学校におけるトイレの洋式化率は約60%となっており、他都市と同水準で実施しています。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	校舎及び体育館等のトイレのリニューアル及び洋式化を進めることにより、児童生徒の学習環境の改善とともに、避難施設としての機能の充実を図ることができるため、本事業は有効な取組であると考えます。
効率性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	B	左記判断理由	トイレを含む校舎の老朽化が進行していることから、将来の大規模な改修等を見据え、今後の使用年数に応じた改修内容とするなど、効率的にトイレの環境改善を図る手法の検討が必要です。


 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	市内小中学校施設の老朽化が進む中、限られた財源を有効に活用し、トイレ等の環境改善を図るため、過去の改修履歴や施設の使用(見込)年数等を考慮し、さらなる費用対効果の向上に取り組む必要があります。
令和4年度の取組方針		国の令和3年度補正予算を活用し、高部屋小学校1期校舎・屋内運動場及び竹園小学校西棟トイレの改修工事を実施します。また、各校のトイレの老朽化状況等を踏まえ、部分的な修繕等を実施し、環境改善を図ります。		
所管部長による総評		令和3年度は、大田小学校2期校舎等のトイレリニューアルに取り組むなど、計画的に事業を推進することができたと考えます。引き続き国庫補助金をはじめとする財源確保に努めながら、トイレのリニューアルに取り組むとともに、費用対効果を考慮した部分的な修繕や洋式化率の向上に取り組む、学校施設の環境改善を図ります。		